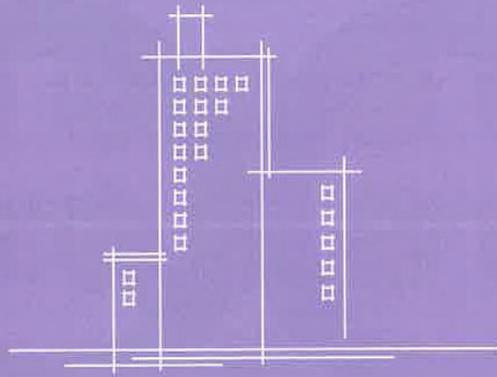


露出・埋設OK

耐震・沈下に威力を発揮

フレキシブル排水管
タイシンチンカ



6つの優れた特長

曲げ性能・伸縮性・扁平力・偏芯性
耐薬品性・耐久性

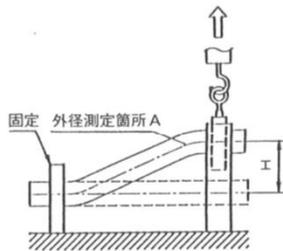


ヒトのチカラでラクに偏芯できるセット寸法(有効長) 単位: mm

フレキ口径	φ50	φ75	φ100	φ125	φ150
100偏芯	600	650	700	800	1000
200偏芯	700	700	800	1000	1200
300偏芯	750	800	900	1300	1400
400偏芯	800	900	1000	1500	1600
500偏芯	1000	1000	1200	1600	1800
600偏芯	1200	1200	1300	1700	1900
700偏芯	1300	1300	1500	1800	2000
800偏芯	1500	1500	1600	2000	2200

- 安全度150%: 左表の150%迄の偏芯が可能です。
- 耐震フレキの標準長は、フレキの両端を、手で持ち、ヒトのチカラで90°曲る長さです。
- 施工時は機械的チカラで偏芯しないことを考慮し、ヒトのチカラでラクに曲げて配管できる長さが左表のとおりです。
- タイシンチンカの偏芯試験は、図の様に試験機に固定して機械的に計測していますので、ヒトのチカラで曲げるのに比べて大きな数値が試験結果値として出ますが、これは地震や地盤沈下などにより、ヒトのチカラ以外のもっと強い応力がかかった場合にも、十分な偏芯が可能であることを示しています。(下表ご参照)

偏芯(偏位)・指定長



建物の耐震・免震・耐沈下に

土木の仮設・埋設・地盤沈下に

高速道路の橋梁雨水排水に
国交省・道路公団の採用実績多数

農業用水の地盤沈下対策に

機械的な応力で偏芯させた場合の偏芯試験結果

フレキ口径	長さ (mm)	偏芯量 (mm)
φ50	(標準長) 400	100
	500	130
φ75	(標準長) 500	200
	600	300
φ100	(標準長) 600	250
	1000	700
	1500	1000
φ125	(標準長) 800	400
	1000	600
	1500	800
φ150	(標準長) 1000	600
	1500	800
	1800	900

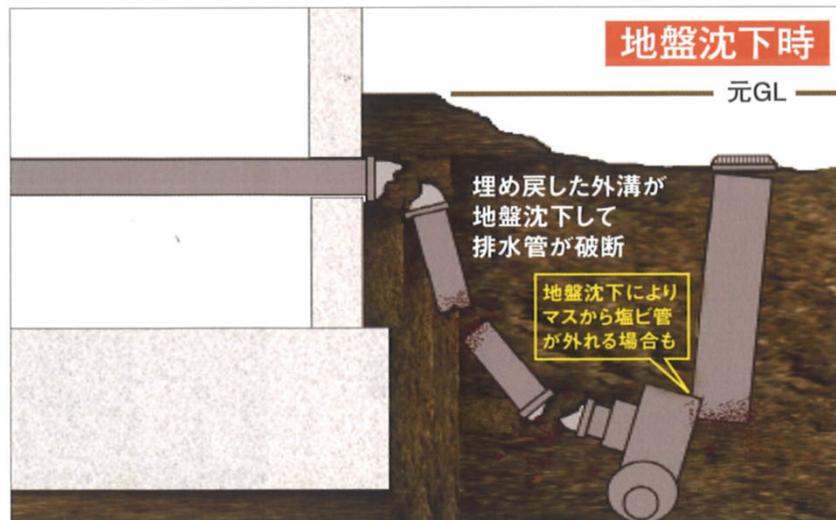
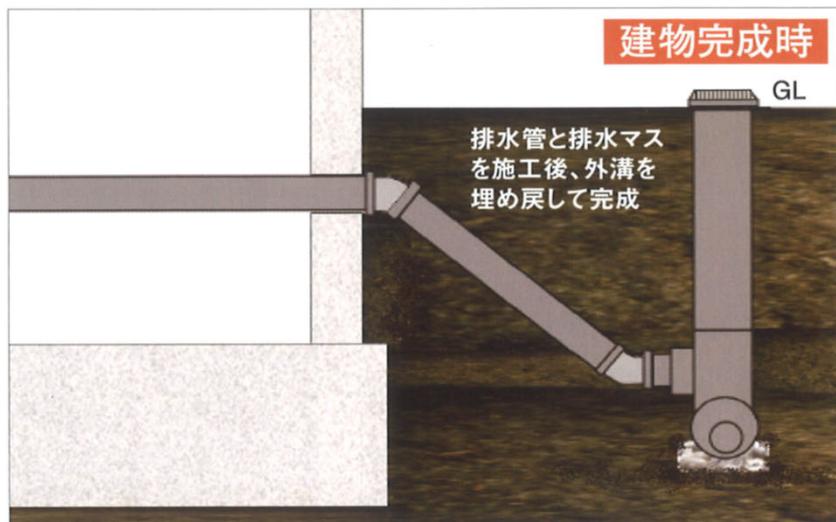
施工例 大手ゼネコン物件である神戸市中央区中山手通のマンションにて数10本、地盤沈下と伸縮吸収を目的に採用されています。



地震や地盤沈下による排水管破断は このように発生します。

建物自体は基礎工事の上に建っていて沈下は避けられても
外溝は埋め戻しのため地震や地盤沈下で排水管破断が発生します。
液状化で発生した地盤沈下では排水管は殆ど破断します。

こんな「困った」には日本テクノの排水フレキが便利です!

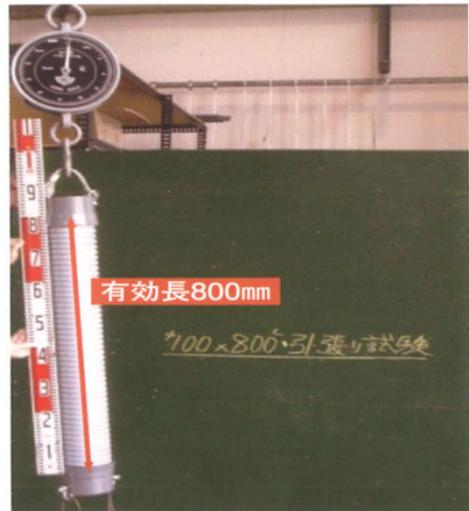


試験体φ100×800L(特注長)による 伸縮性・曲げ性能の試験

伸縮性

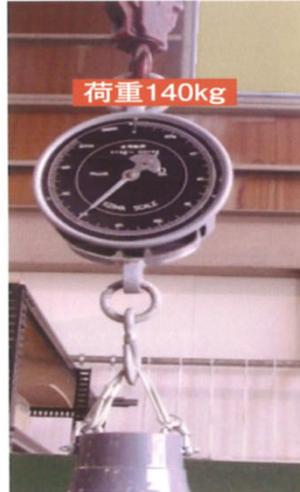
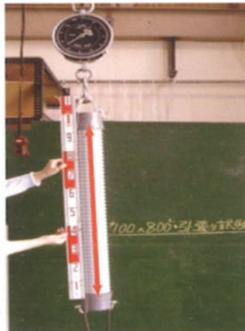


ハカリの目盛は
フレキの荷重の
約1.2kg



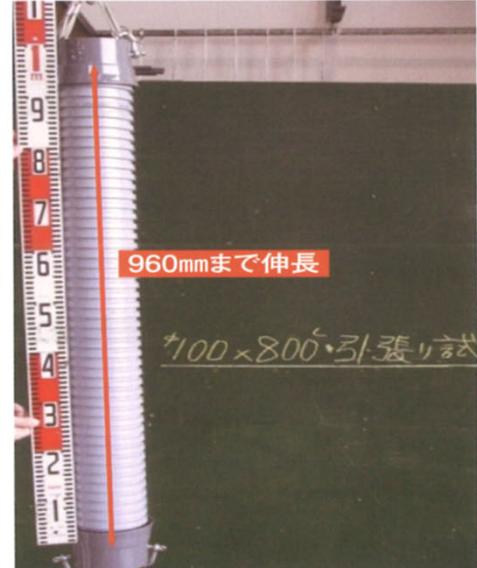
有効長800mm

φ100×800・引張り試験



荷重140kg

引張りの荷重は
140kg

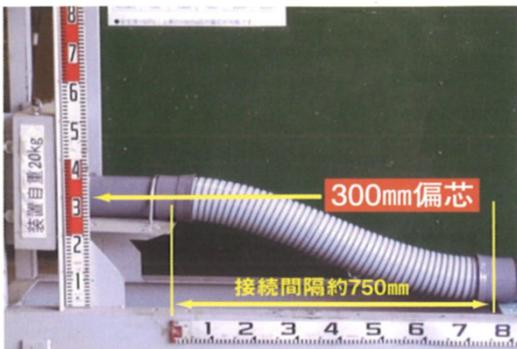


960mmまで伸長

φ100×800・引張り試験

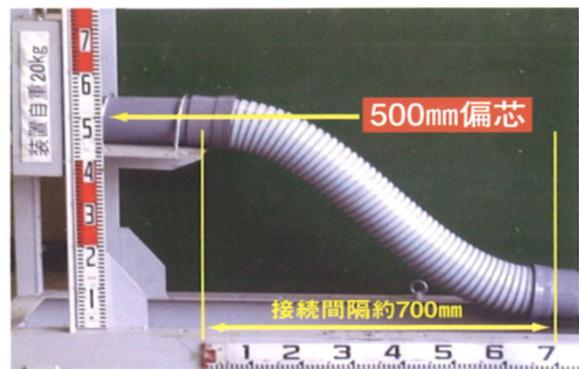
機械的なチカラ(約140kg)で引っ張った場合、800Lのフレキが960Lまで伸長 20%の伸び。

曲げ性能



300mm偏芯

接続間隔約750mm



500mm偏芯

接続間隔約700mm

200mm偏芯推奨長の場合、500mm偏芯になってもフレキ管には問題ありません。
偏芯量の増加により接続間隔が短くなりますので
十分な安全度をみた特注長のご利用がオススメです。